

## 気象界消息

### 1. 国際オゾン、シンポジウムの開催

アメリカ・アルバカルキで8月31日から9月4日まで、オゾン・シンポジウムが開かれた。日本からは三宅恭男地球化学研究部長、川村清第一研究室長、小林寿太郎高層物理第一研究室長が気象研究所から、気象庁からは高層課 関口理郎技術係長が参加し、またレニングラードの輻射シンポジウムに出席していた、関原彊第二研究室長（高層物理研究部）も合流出席した。

なお、レニングラードの輻射シンポジウム出席中、東北大学山本義一教授は病氣（胃腸障害）のため帰国された。また、三宅・小林・関口の三氏は9月7・8日の両日、サンタ・フェで開かれたオゾン観測計画会議にも出席した。

### 2. 日米科学協力研究業務—太平洋および離島における雲物理：降水機構研究観測打合せ

ハワイ島における降水機構研究観測打合せが9月1日—4日、ハワイで開かれ、日本から気象研・台風研究部 藤原美幸研究官、名古屋大学、磯野謙治教授、駒林誠助教授が出席した。

### 3. 電波気象の会議の開催

アメリカ・ボールドーで9月14日—18日、電波気象会議が開かれ、気象研究所今井一郎台風研究部長が出席した。

### 4. WMO 熱帯気象セミナーの開催

フィリピン・マニラで WMO 主催、熱帯気象セミナーが8月下旬から9月半ばまで開かれ、気象研究所台風研究部小平信彦第三研究室長、気象庁予報寸光野一予報官が出席した。

### 5. 韓国気象台から留学研修

日米合同第三国研修計画にもとずいて、韓国気象台の朴南圭予報官は昨年12月から気象大学校、気象庁、気象研究所、東京航空地方気象台で研修をおこなっている。

### 6. 秋田に豪雨

8月12日夜から13日にかけて秋田県に豪雨があり、80ミリから100ミリの降水量を記録し、洪水、山くずれにより死者1名をだした。

### 7. チリの地震

チリ北部のアタカマ地方に8月18日朝、地震があった幸にも大きくなく、被害は少なかった。

### 8. 東京の猛暑

8月20日、偏東波中に発生した熱低気圧が東から関東地方に侵入して降雨をもたらすまで、日最高気温が30°C以上の日が7月22日から29日間、連続していたのが終わった。これは1881年の31日間につぐもので、8月20日の最高気温は28.9°Cであった。8月20日の雨で砂バクと言われた東京の水もやや緩和した。

### 9. 台風・九州から近畿を抜ける

台風14号が8月24日、九州から四国へぬけ、さらに近畿地方を横断して日本海へぬけた。このため、各地で洪水と強風の被害があった。

### 10. ハリケーン、ジャマイカへ

ハリケーン・クレオが同じ8月24日、カリブ海をよこぎってジャマイカを通過した。死者14名をだしたと伝えられる。クレオはさらにフロリダ州にも大きな被害をもたらした。

### 11. ビルマに洪水

8月25日、2日続いた雨のため洪水が発生し、ラングーン・マンダレー間の列車が不通になった。

### 12. ニムバスの観測成功

8月28日、ニムバス一号は軌道に乗り、423キロから932キロの高空から、ほぼ赤道に直角の軌道を描いて、地球の上の雲の写真と輻射の資料の送信を開始した。資料の得られる地域の幅は2414キロである。

### 13. カムチャッカ方面の地震

気象庁は9月1日22時55分にカムチャッカ方面に遠方の地震があったらしいと発表した。

### 14. インドの洪水

パンジャブ州に8月下旬から約一週間、雨が降り続き、数百ヶ村が洪水に見舞われていると9月2日、ニューデリーから報告があった。雨は9月3日に降り止み、青空が見えたが、まだ洪水の危険にさらされている由。

### 15. 10日も早く初秋来る

過去83年間で一番長い猛暑の毎日にあけくれた東京に、これはまた、平年より10日も早く、8月31日に秋型の気圧配置になった。この夏は例年になく暑く、これは日本のほとんどをおおう高気圧が異常に強力だったことに起因しているが、北海道では異常に涼しい夏に終止したことは皮肉だった。

### 16. 山口・島根・鳥取に洪水

9月2日から100ミリをこす降水が、山口、島根、鳥

取をおそい、山くずれと洪水の被害が報じられた。

### 17. 台風相次いで、香港を急襲

9月5日、台風ルーベが香港を通過し、死者27名におよぶ被害をだした。続く台風18号・サリー、19号・チルダもフィリピンから南支那海にぬけ、サリーは9月11日に香港に再び襲いかかり、9名の死者をだした。チルダに続く、バイオレットも南支那海に入り、香港を威嚇していると9月15日、グアムにある台風警報センターが報じている。

### 18. 北鎮岳に初冠雪

9月9日、大雪山の北鎮岳(2,246m)に初雪があった。これは昨年よりも3日早い。

### 19. ハリケーン・ドラ フロリダを荒れ狂う

9月16日、ハリケーン・ドラがアメリカ南部のセントオーグスチン、ジャクソンビルの二市を襲った。高潮のため被害は20億ドルにのぼるといふ。

### 20. ハワイ・チリに地震

9月14日、ハワイに、9月15日、チリ・サンチャゴ附近にかなりの地震があったがいずれも被害はなかった。

### 21. ソールに局地豪雨

大韓民国ソール市周辺地区に9月13日朝、はげしい嵐がおそい、豪雨のため山くずれ、洪水等の被害が各地に発生した。死者170名、行方不明212名にのぼると、9月14日朝報告があった。(山口 協 記)

(301頁よりつづく)

田邦十三、小林啓一、堀健二、中野猿人、金谷光三、橋本正義、倉橋彰、平沢健三、小長俊二、山本達夫、西山勝鴨、城松幸、堀内俊彦、宮崎本弘、三島恒夫、青砥昭寿、高岸常也、太田純一郎、明戸謙、葛西光明、細井善一、妹尾芳幸、正木明、堀口泰三、福原一雄、船本政勝、股野宏志、小松巖、平野透、私山敏夫、斉藤将一、白井潔、北村勇、後町幸雄、佐藤謙、花房竜男、藤井健、宮田賢二、吉住禎夫、陳介臣、古都正雄、定成勇、丸本一雄、宇野見隆生、水姓勝敏、田辺寿夫、井出恒夫、太田盛三、根山芳晴、吉田伸夫、柳島量三、福村幸男、佐藤敬治、吉良清、金城盛毅、木戸治之助、竹内勤、岡田貞男、中村智雄、北勲、福田彦和、千葉為利、岸田和博、篠崎猛夫、小上多三男、金山辰徳、森永正史、市川清見、石田幸太郎、古橋重利、植田利政、足羽栄之進、北村進、来海徹一、斎藤貞己、鈴木正一郎、難波林造、菱谷敏郎、村上英雄、吉谷吉樹、田口八雲、大西正信、中西盈、立川勝己、田中貞三、菅修、白方良夫、熊井輝義、佐野周宜、住田多三郎、古富周三、大成公道、王井定直、山口直之、鈴木斉、宮本一夫、大島正三、池本史郎、藤川円治郎、高橋武郎、神野武、武市亀治、瀬戸忠夫、田垣内長彦、金丸健、松井銀四郎、綾武、飛田正勝、佐川昭一、伊藤抄山崎五郎、掛川信良、山岸米二郎

0.5口 中川清、道本達治、松井晋二、福森秀男、山崎清道、船越常志、西浦昭夫、橋本博、弘井一男、西村浩

三

### 0.3口 宇野清

北海道支部 (38口)

#### 3口 日下部正雄、函館海洋気象台調査課

2口 吉田順五、孫野長治、柿崎英一、唐津進、藤巻一夫、高信正弘、桑名十郎

1口 黒岩大助、菊地勝弘、塩見蘭四郎、串崎利兵衛、菅原正信、山本晁、上橋宏、野口幹夫、寺島和行、軍司和夫、鎌本博夫、高島住吉、鯉沼正一、江口三雄、高橋敏夫、長宗留男、斎藤実、田中文治

### 0.5口 小島賢治、小林禎作

九州支部 (8口)

#### 2口 山田三朗

1口 森国広、岡村存、富高四郎、深田禎二郎、植村八郎、藤田三男

本部関係大口寄附 (1口1,000円、総計259口)

50口 日本気象学会、日本アイ・ビー・エム株式会社

30口 日本無線株式会社、三菱電機株式会社、東京芝浦電気株式会社

15口 明星電気株式会社

10口 日本航空株式会社、久保田気象測器株式会社、沖電気工業株式会社

5口 小笠原計器製作所、技報堂、伊藤精機株式会社

3口 吉野計器製作所、中浅測単株式会社、太田計器製作所